

第33回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 令和6年3月27日（水） 17:30～ 18:05

2 場 所 備前市日生総合支所 防災センター2階大会議室

3 出席者

（1）委 員

牟禮 正稔	赤穂市長
溝田 康人	赤穂市副市長
土遠 孝昌	赤穂市議会議長
西川 浩司	赤穂市議会副議長
吉村 武司	備前市長
杉浦 俊太郎	備前市副市長
守井 秀龍	備前市議会議長
森本 洋子	備前市議会副議長
梅田 修作	上郡町長
山本 高士	上郡町副町長
立花 照弘	上郡町議会議長
澤田 正治	上郡町議会副議長

（2）幹 事

赤穂市：山内市長公室長
備前市：濱山総合政策部長
上郡町：木村企画広報課長

（3）事務局及び各市町担当者

赤穂市：玉木企画政策課長、深澤企画係長、軀川企画政策課主事
備前市：馬場企画課長、赤木企画課主任
上郡町：高永企画広報課副課長、玉石企画広報課主事

（4）説明員

①教育施設部会： 前川上郡町生涯学習課長
②給食部会： 前川上郡町生涯学習課長
③観光部会： 深澤上郡町地域振興課長
④農林商工部会： 中井上郡町農林振興課長
⑤交通部会： 玉木赤穂市企画政策課長（代理）
⑥通信情報部会： 古谷赤穂市デジタル化推進担当課長
⑦職員部会： 青木備前市総務課長（代理）
⑧交流定住部会： 山口赤穂市観光課長
⑨医療分野： 渡代赤穂市民病院事務局長

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 協議事項

- ・第34号議案 東備西播定住自立圏共生ビジョン（第4回変更）について
- ・第35号議案 令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について

(4) その他

(5) 閉 会

5 議事の概要

山内幹事 定刻になりましたので、ただ今から、第33回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。

本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の山内です。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、会長であります牟禮赤穂市長よりごあいさつを申し上げます。

牟禮会長 本日は年度末のお忙しい中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。
この度の開催にあたりましては、備前市さんに会場のご提供をいただきまして、ありがとうございます。

東備西播定住自立圏事業につきましては、令和2年度から新たな5ヵ年の共生ビジョンのもと、協定に基づく連携分野において、事業展開を行っているところであります。

3年間は色々な事業でイベントの中止や延期、または規模の縮小と様々な影響を受けておりましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行された昨年の5月以降は行動制限無く活動することができました。

令和5年度では比較的従来の事業を実行することができたことは、本日ご参集いただきました皆さまのご尽力の賜物であると改めてお礼申し上げたいと思います。

本日の議案としまして、東備西播定住自立圏共生ビジョンの第4回変更について、及び、令和6年度の予算案につきましてご協議いただきます。

皆さま方におかれましては、ご忌憚のない意見交換、円滑な議事進行にご協力をお願いし、また、適切妥当なご検討を賜りますようお願い申し上げまして、簡単措辞ではございますけれども、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

山内幹事 ありがとうございました。

なお、お手元に委員名簿並びに部会別役割分担表を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

牟禮会長

定めによりまして、私が議事進行を務めさせていただきます。

それでは、次第３の協議事項に入ります。

（１）第３４号議案 東備西播定住自立圏共生ビジョン（第４回変更）について、事務局から説明をお願いします。

事務局

東備西播定住自立圏共生ビジョンの第４回変更につきまして、赤穂市企画政策課の玉木がご説明申し上げます。

お手元の、東備西播定住自立圏共生ビジョンと参考資料としております、令和６年３月東備西播定住自立圏共生ビジョン変更箇所一覧をお願いいたします。

主に、変更箇所一覧により、ご説明をさせていただきます。

今回の共生ビジョンの変更につきましては、令和６年度の協議会の予算編成にともなう事業費の変更が主なものでございます。

恐れ入りますが、共生ビジョン変更箇所一覧をお願いいたします。

表の左から、変更箇所、変更前、変更後となっております。変更箇所には、共生ビジョンのページを記載し、変更前、変更後において変更した箇所は、下線を引いて表示しております。

はじめに、１ページをお願いいたします。

変更箇所は表紙で、第４回変更を令和６年３月にする旨、追加で記載するものでございます。

めくっていただきまして、２ページをお願いいたします。

変更箇所７ページの医療連携研究会事業について、であります。

字が小さくて申し訳ございません。

まず、事業内容ですが、京都大学等から大学教授を招へいし、４公立病院の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行うと、しておりましたところ、４公立病院のあとに、及び圏域内の民間医療機関を加え、改めたいものでございます。

つぎにその下、効果のところも同様に、公立病院のあとに、及び圏域内の民間医療機関を加え、医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする、に改めたいものでございます。

つぎにその下、変更箇所１３ページの赤穂市生涯学習施設整備事業について、であります。

こちらは、赤穂市の予算で赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホールを改修・整備するもので、事業費は電気設備改修工事及び展示室等照明ＬＥＤ化改修工事で、合計１億４６０万円に変更するものでございます。

3 ページをお願いいたします。

変更箇所 14 ページの備前市生涯学習施設整備事業について、であります。

こちらは、備前市さんの予算で、施設を改修・整備するものでございますが、事業名のところを、備前市生涯学習施設のあとに、及び文化・スポーツ施設、と加え、改めたいものでございます。

次にその下、事業内容ですが、市民センター及び日生市民会館は「図書館相互利用推進事業」の拠点となる図書館を含む複合施設であり、図書館相互利用をはじめ、圏域住民による文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たしている、のあとに、また、備前市総合運動公園及び日生運動公園は、「文化・スポーツ施設相互利用促進事業」の拠点となる施設であり、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民相互の交流を図るなど、重要な役割を果たしているため、経年劣化により改修の必要性がある施設整備等の整備を行う、に改めたいものでございます。

その下、効果のところも同様に、図書館相互利用推進事業のあとに、及び文化・スポーツ施設相互利用促進事業を加え、その推進を図るとともに、圏域内の生涯学習及び文化・スポーツの機会の充実、文化・スポーツ振興及び住民交流の促進を図る、に改めたいものでございます。

令和6年度の事業費は、市民センター整備を改め、備前市総合運動公園体育館高圧コンデンサ取替修繕で65万8千円、日生運動公園体育館自家発電取替工事及び日生プールろ過材入替修繕で、1,381万2千円に変更するものでございます。

またその下、関係市町の役割分担のところ、関係市町は、図書館相互利用推進事業のあとに、及び文化・スポーツ施設相互利用促進事業のほか、圏域形成を推進する文化事業を協力して実施する、に改めたいものでございます。

めくっていただきまして、4 ページをお願いいたします。

変更箇所 15 ページの上郡町スポーツ施設整備事業について、であります。

こちらは、上郡町さんの予算で、施設を改修・整備するものでございますが、事業名のところ、上郡町スポーツ施設整備事業を、上郡町生涯学習施設整備事業、に改めたいものでございます。

つぎにその下、事業内容ですが、上郡町スポーツセンターのあとに、及び上郡町生涯学習支援センターを加え、圏域市町間における「文化・スポーツ施設相互利用促進事業」「図書館相互利用推進事業」をはじめ、各種圏域事業による圏域住民のスポーツ振興、文化・芸術の振興による住民交流を促進する場として重要な役割を果たす拠点施設であるが、経年劣化により改修の必要性がある施設整備等の整備を行う、に改めたいものでございます。

その下、効果のところも同様に、圏域住民の交流・利用に必要な施設の整備を行うのあとに、文化・スポーツ施設相互利用促進事業をはじめとする圏域住民のスポーツの振興及び、文化・芸術の振興による住民交流の促進を図る、に改めたいものでございます。

つぎにその下、変更箇所 19 ページの有害鳥獣対策事業について、であります。

事業内容のところですが、圏域内各市町の共通課題である野生動物対策について、効果的な獣害低減策に関する情報共有化の前に、情報収集を加え、改めたいものでございます。

つぎにその下、圏域バス運行事業について、であります。

令和6年4月から、備前ルート、上郡ルートとも、JR播州赤穂駅や赤穂市内の商業施設に新たに停車するよう変更したほか、赤穂市内の千鳥地区や大津地区を運

行するルートに変更した関係、また運転手不足に対応するための処遇改善として、人件費が増加したことや、燃料費・車両修繕費等の高騰により、事業費を1,942万5千円に変更するものでございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。

一番上、変更箇所21ページのJR利便性向上事業について、であります。

令和4年度と令和5年度は、JR利用促進活動ということで、それぞれ2市1町で、駅や商業施設において、ティッシュ等を配ってJRの利用促進活動をしておりましたが、令和6年度は圏域内にあるJR赤穂線及びJR山陽本線のフォトコンテストを開催して、それぞれ圏域内の住民にJRに親しみを持ってもらい、JRの利用促進につなげたいと考えております。

その事業費として、55万円に変更するものでございます。

つぎにその下、変更箇所26ページの縁結び事業について、であります。

関係市町の役割分担のところですが、こちらは事業を実施する事務局を持ち回りで行っておりまして、令和6年度は上郡町がその事務局として、事業を企画・調整し、赤穂市、備前市の協力を得て、協議会で実施する、に改めたいものでございます。

その下も同様に、赤穂市、備前市は、事業関係者との協議、資料作成などの役割を果たす、に改めたいものでございます。

つぎにその下、変更箇所26ページの定住相談員設置事業について、であります。

平成28年度より、2市1町でそれぞれ1名ずつ、計3名の定住相談員を配置しておりますが、ご承知のとおり、地方自治法の改正により、令和6年度から会計年度任用職員についても、勤勉手当を支給することとされました。

あわせて、定期昇給及び定期昇給に伴う社会保険料の増加により、事業費を1,140万円に変更するものでございます。

以上が、令和6年度協議会予算編成にともなう事業費の変更となります。

なお、金額の変更がなかった事業につきましては、令和6年度事業費において、令和5年度と同額の事業費を反映させたものでございます。

以上が、共生ビジョンの第4回変更についてのご説明で、それぞれ個別の事業内容及び予算額の詳細につきましては、のちほど第35号議案で、ご説明させていただきます。

それでは、続きまして、今年度、開催されました「第17回共生ビジョン懇談会」の協議内容について、備前市さんからご報告させていただきます。

備前市企画課の馬場でございます。

第17回 東備西播 定住自立圏 共生ビジョン 懇談会の実施報告をいたします。

まず、開催日につきましては、令和5年11月24日（金）でございます。

開催場所につきましては、赤穂市役所2階204会議室を使用しました。出席者につきましては、アドバイザーである関西福祉大学の秋川教授を含め、委員12名、またオブザーバーとして、岡山市町村課、兵庫県市町振興課から参加をいただきました。

懇談会の内容といたしましては、開会后、座長の選出、その後、共生ビジョンの

進捗状況の報告をいたしました。

委員の皆さまからのご意見・提案としましては、
この事業は令和 6 年以降も続くのか。

共生ビジョン立ち上げから 15 年ほど経っているが、あまり変わっていない印象。
定住自立圏の存在について、各市町民の認知度が低い。

中国地方と近畿地方の境界であるため、見ることができるテレビ局に違いがある。
隣り合っているのに経済も含めた人の交流が見えない。

岡山東部、兵庫西部ともに陸の孤島になっている。公共交通の取り組みや J R に
対する市町の取り組みをもっと発信して欲しい。

空き家への移住者の成功例・失敗例を把握し課題を検討して欲しい。
などのご意見をいただきました

懇談会事務局といたしましては、新しいビジョンを作成し、今後も継続していく
予定であり、広報についても、広く圏域住民に周知できるよう見直ししながら進めて
いくこと。

圏域内の情報交換・情報共有の質を高めることは必要だと考えている。圏域内の
交流を深めるイベントの開催や圏域内バス運行など取り組んでいる。さらに圏域内
住民の交流が進むよう努めていく。

毎年、J R 岡山支社、兵庫支社にそれぞれ要望書を提出している。圏域住民に知
っていただけるよう情報発信に努めていく。

補助金を使った移住者についてはアンケートを取っている。課題の検討方法の 1
つとして、参考にさせていただき、旨のお話をさせていただきました。

また、アドバイザーの関西福祉大学の秋川教授より、
急速に進む少子化に対して、教育に力を入れていくことが急務である。

子育て支援について、それぞれのまちが、子育てに適しているというイメージや
特色を情報発信していくことが大切である。

それぞれの市町の高校を維持することが必要であり、高校生と市民の関係をあた
たかいものにしていかなければならない。

子育て支援と高校の維持、そのベースとして幼少期から義務教育が終わるまでの
教育の質の高さが不可欠である。

「定住」は大事ではあるが、まずは人を集めることが必要。観光面で S N S を使
った情報発信も有効。

空き家対策については、代執行も含めて首長主体で空き家活用を検討されている
と思う。定住と空き家の問題はセットであり、移住者のニーズとのマッチングが重
要。

高齢者と若者を巻き込んでの交流を仕掛ける必要がある。市町単独では難しいた
め、行政間の壁を低くして、一緒に取り組んでほしい。
などのアドバイスをいただきました。

その他、委員の皆さまから、農業、交通インフラ、空き家対策、産業・観光振興
など様々なご意見をいただいております。

終わりに、本懇談会におきましては、コロナ禍により、ここ数年、書面開催とな
っていましたが、久しぶりに対面により開催することができました。

委員の皆さまからも、多くの貴重なご意見等をいただきましたので、次年度予定
しております新規ビジョン策定も視野に入れ、今後の協議会の運営に積極的に活か
してまいりたいと考えております。

東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の実施報告につきましては、以上であります。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。
ただ今の説明について何か質問等ありますか。

(特になし)

特にないようですので、ただいまの東備西播定住自立圏共生ビジョン（第4回変更）につきましては、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

(異議なし)

それでは、第34号議案 東備西播定住自立圏共生ビジョン（第4回変更）につきましては、可決いたします。

続きまして、(2) 第35号議案 令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、事務局から説明をお願いします。

事務局

赤穂市企画政策課の深澤でございます。

私から、令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、お配りしております共生ビジョンの冊子により説明させていただきます。

お手元の共生ビジョンの冊子の7ページをお願いいたします。

医療分野について、まず、医療連携研究会事業です。

圏域内の医師や看護師、医療技術者を対象に、先端医療の現状について講演、指導等を仰ぐ連携研究会を行うもので、講師に係る報償費、旅費、会場使用料など、事業費は30万円です。

次に8ページ、看護職員教育研修支援事業です。看護職員の教育研修のためのシミュレータ等の教育機材を購入し、4公立病院の新人看護職員を中心とした看護職員のレベルアップを図るもので、事業費は50万円です。

次に、教育関係です。9ページの日本遺産を活かした地域の魅力向上事業です。

この事業は、日本遺産に関する講演会やシンポジウム等を2市1町で開催するもので、講師に係る報償費、旅費、会場使用料など、事業費は30万円です。

次に、10ページの図書館相互利用推進事業につきましては、各図書館で借りた本をどの図書館でも返却できるように令和元年度から実施しており、図書館相互間で返却資料の託送経費等、事業費は30万円です。

次に12ページ、トップアスリート等招へい事業です。

こちらは、国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招へいし、圏域住民が参加する魅力あるスポーツイベントを実施するもので、事業費は90万円です。

次に、下段、中学校吹奏楽部交流助成事業です。

音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体と連携して実施する、2市1町の中学校吹奏楽部交流事業に対して助成を行うもので、会場使用料など、事業費は70

万円です。

次に、13ページ「圏域中学生体験プログラム事業」です。

圏域内の中学生が、関西福祉大学において専門的なプログラムを体験するもので、移動用のバスの借上げ、教材用消耗品など、事業費は115万円です。

次の赤穂市生涯学習施設整備事業は、赤穂市文化会館及び赤穂市立図書館を赤穂市が負担して整備するもので、事業費は、文化会館の改修工事費1億460万円です。

次に、14ページの備前市生涯学習施設及び文化・スポーツ施設整備事業は、事業費の欄に記載の施設を備前市が負担して整備するもので、事業費は、備前市総合運動公園が65万8千円、日生運動公園が1,381万2千円です。

次に、15ページの上郡町生涯学習施設整備事業は、上郡町生涯学習支援センターを上郡町が負担して整備するもので、事業費は2,250万円です。

続きまして、17ページをお願いいたします。産業振興関係です。

はじめに、地域ブランド発掘事業ですが、圏域の魅力を内外に発信するため、農業、商業、工業者等によるイベントの開催や出展支援、新製品開発支援など、地域ブランド発掘のための事業を行うもので、支援のための補助金が主な経費で、事業費は50万円です。

次に、18ページの観光振興推進事業です。観光キャンペーン等の情報発信やマスメディアを活用した誘客活動を共同で行う経費で、事業費は90万円です。

次に、19ページの有害鳥獣対策事業です。圏域内各市町の共通課題である野生動物対策について、効果的な獣害低減策に関する情報の共有化や、獣害防護柵の設置支援を実施するとともに、各市町の猟友会活動の側面的支援を行う事業で、各市町の猟友会活動用資材現物支給に係る経費など、事業費は、74万円です。

次に、20ページの企業誘致促進事業です。

企業情報等の収集活動など、企業誘致活動を推進する事業で、企業立地アンケートを行う費用として、事業費は90万です。

次に、21ページ、地域公共交通関係です。

まず、圏域バス運行事業ですが、圏域住民の移動手段の確保による利便性向上を図るため、引き続き圏域バスを運行いたします。事業費は、1,942万5千円です。

次に、下段、JR利便性向上事業です。引き続きJR山陽本線及び赤穂線を利用する圏域住民や圏域訪問者の移動手段確保と利便性の向上を図るため、JR西日本神戸支社及び岡山支社への働きかけを行うための旅費等で、事業費は、55万円です。

次に、23ページをお願いします。地域内外の住民との交流・移住促進についてです。

まず、民間イベント等助成事業です。圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるため、圏域内の複数の市町において実施する民間イベント等に対し、最高10万円の助成を行うもので、事業費は156万円です。

次に、24ページ、こどもと学生のふれあい活動支援事業です。関西福祉大学の学生ボランティアにより、圏域のこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあい活動に対して大学と協議会が半分ずつ負担して事業を実施するもので、事業費は、11万円です。

次に、下段の地域連携フォーラム支援事業です。関西福祉大学が、福祉、看護、教育の視点から、様々な地域課題の問題解決に向けて取り組む地域連携フォーラム

に対して経費の2分の1を支援するもので、事業費は、90万円です。

次に、25ページ、定住相談会開催等事業です。2市1町合同による定住相談会を、大阪や東京など主要な都市で開催し、移住・定住先として本圏域を選択してもらえるよう働きかけを行います。事業費は、380万円です。

次に、26ページの縁結び事業は、男女の出会いイベント事業を実施するもので、事業費は60万円です。

次に下段、定住相談員設置事業につきましては、2市1町に定住相談員をそれぞれ1名ずつ配置し、定住相談会や定住に関わる様々な事務に従事していただきます。事業費は人件費として、1,140万円です。

次に、27ページ、圏域内の職員等の交流についてです。

まず、職員研修事業ですが、職員の能力向上を図るため、圏域内の共通課題をテーマに2市1町の職員を対象とした集合研修等を実施するもので、事業費は30万円です。

次に、28ページ、専門家招へい事業です。高度で専門的な知識・技術等を有するなど、行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいし、職員育成を図るもので、講師の報償費や旅費など、事業費は20万円です。

次の、29、30ページには、字が小さく大変恐縮ですが、これまで説明してきました事業費の一覧表を添付しておりますので、参考にご覧ください。

続いて、第35号議案 令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算と書かれた裏面の資料をお願いいたします。

こちらは、先ほど説明いたしました協議会事業に係る予算を、費目別に分類した経費を歳入、歳出として記載しております。また、歳出には、予備費として10万円を加えております。これにより、令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算総額は、5,060万円を計上いたしております。

以上で、令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算の説明を終わります。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。
ただ今の説明について何か質問等ありますか。

(特になし)

特にないようですので、令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきまして、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

(異議なし)

それでは、第35号議案 令和6年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきましては、可決いたします。

続きまして、4のその他ですが、事務局から何かありますか。

事務局

まず、本日もご決定いただきました共生ビジョン(第4回変更)と予算に基づき、各部会において令和6年度も様々な交流事業を実施してまいりたいと思います。

次回協議会の日程についてであります、今後の状況により、改めてお知らせさせていただきます。

以上です。

牟禮会長

この際ですので、皆さま方から何かご意見ございませんか。

(特になし)

事務局からも説明がありましたが、次回の開催につきましては、改めて通知させていただきたいと思います。また、各種事業への参加についてもよろしく願いします。

それでは、以上を持ちまして本日の会議は終了いたします。